

令和5年度県立高校の入学予定者及び保護者等の皆様へ

県立高校では

1人1台タブレット端末による学びの充実をめざします

Would you please bring your own device to enhance your learning.

文部科学省では、「ICT機器と学校の通信ネットワークを一体的に整備し、予測困難な未来を切り拓いていく力を、誰一人取り残すことなく育成する教育環境を実現する」GIGAスクール構想を推進しています。

長野県では、1人1台タブレット端末を活用した学びの充実を推進しています。令和4年度入学生からは、個人所有の端末を学校へ持ち込んでいただき、授業等の様々な場面でICTを活用した学習活動の充実を図っております。

端末の個人所有に向けて、各校では、端末購入の負担がそのまま上乗せされないよう、学校徴収金の見直しを行っています。

1人1台を活用した学びのイメージ



課題設定

-  デジタルホワイトボード
アイデアの共有・吟味
-  デジタルメモ
気づきを記録・共有
-  カレンダー
スケジュール共有



まとめ・表現 アウトプット

-  スライド
共同編集・発表
-  ウェブサイト
作成・公開
-  オンライン
発表・ビデオ会議

学びのDX




探究的な学びを実現

Google for Education

情報の収集

-  ブラウザ
検索・ファクトチェック
-  ファイル
クラウドへ保存
-  連絡
電子メール

整理・分析

-  フォーム
情報収集
-  グラフ化とデータ分析
データサイエンス・AI活用
-  レポート
共同編集



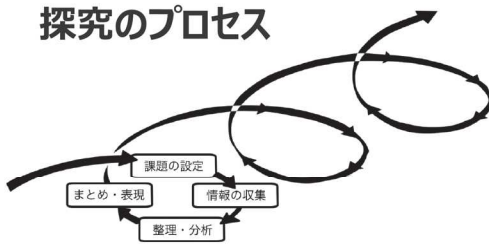
“1人1台”を活用して、教科の学びをつなぐ。社会課題の解決に生かす。

ICTを含む様々なツールを駆使して、各教科等での学びをつなぎ探究するSTEAM教育 ※

※Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育

探究のプロセスにおける様々な場面において、ICTを効果的に活用することができる

探究のプロセス



課題の設定	実社会の問題状況に関わる課題、進路や教科等、横断的な課題などを設定
情報の収集	文献検索、ネット検索、インタビュー、アンケート、実験、フィールドワーク等
整理・分析	統計による分析、思考ツール、テキストマイニング等で分析
まとめ・表現	論文作成、プレゼンテーション、ポスターセッション、提言等で発信

(出典：文部科学省「GIGA スクール構想の実現へ」)

1人1台タブレット端末 Q&A

Q なぜ1人1台タブレット端末を個人所有とするのですか？

A 個人所有の端末として自由にカスタマイズでき、学校でも家庭でも愛着をもって大切に扱いながら、学びを豊かにする道具として活用できます。また、クラウドIDとパスワードを使って、端末の機種によらず、いつでもどこでもログインして学びに活用できます。

Q 端末購入により負担が増えるのでは？

A できるだけ保護者負担が少なくなるよう学校徴収金の見直しを行います。学校行事の見直しや、従来購入していた紙の辞書や電子辞書、問題集などをアプリに代える等により負担軽減を図ります。

Q どんな端末を準備すればよいですか？

A 各校の状況により、次のような様々な準備方式があります。

BYOD … 個人が所有している端末を持ち込む方式

Bring Your Own Device

BYAD … 学校が授業等での使い方を考えた上で端末の種類や性能を指定する方式

Bring Your Assigned Device

CYOD … 学校が端末の仕様や機種を複数指定して、利用者が選択する方式

Choose Your Own Device

端末の準備は、進学する**学校の方針を確認**してください。

Q 県の斡旋はありますか？

A 長野県教育委員会も端末を斡旋する予定です。入学予定者の発表後に**各校の方針を確認**の上でご検討ください。

Q 購入が困難な場合の支援はありますか？

A 住民税非課税の世帯等を対象に、端末を貸与します。各校にご相談ください。端末は卒業まで貸与し、個人管理していただくことになります。

Q 1人1台端末として自宅にあるノートパソコンを使えますか？

A カメラがついている、Wi-Fiにつながる、バッテリーで8時間使用可能など、各校で示される仕様を満たしていれば、自宅にあるノートパソコンも使用可能です。**各校にご確認ください。**